	DP 1	DP 2	DP 3	DP 4	DP 5	DP 6
	ウェルビーイン	ウェルビーイン	コミュニティで	ウェルビーイン	自らフィールド	身に付けた知
	グを多角的に理	グをコミュニ		グを実現する人	に出かけ、様々	識・スキル・態
	解するための、	ティで実現する		材として、自分	な専門職と協力	度を総合的に活
	幅広い知識を習	ために必要な専	ングの課題につ	の役割を自覚す	しながら、コ	用しながら、自
1) D A						
科目名	得している。	門的知識、専門	いて、臨床心理	ることが出来	ミュニティが抱	らが立てた研究
		的スキルを獲得	の学問領域の視	る。	える課題の解決	課題にそれらを
		している。	点・研究方法を		に取り組むこと	適用し、口頭表
			用いて考察する		が出来る。	現や文章表現に
			ことが出来る。			よって伝える力
						を習得してい
総合教育科目				<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>
基礎演習	0		0	0		
基礎演習	0		0	0		
フィールドスタディ入門	0		0	0		
キャリアデザイン入門	0			0		
多摩地域形成論 視野形成科目	0		0	0		
人文系						
文学	0					
	0					
文化人類学	Ö					
哲学	0					
哲学Ⅱ	0					
日本人の心理特性と文化	0					
環境倫理	0					
生命倫理	0					
ホスピタリティ論 教育学	0					
	0					
生涯学習論	0					
異文化コミュニケーションⅠ	0					
異文化コミュニケーション	0					
ビジネスコミュニケーション	Ö					
ビジネスコミュニケーション II	0					
社会系	_	_				
社会福祉概論	0					
地域福祉論	0					
コミュニティマネジメント入門 ボランタリーアクション	0					
法学	0					
日本国憲法	0					
民法丨	0					
民法Ⅱ	Ö					
行政法	0					
行政法Ⅱ	0					
政治学	0					
経営学	0	1				-
経済学 財政学 I	0	-				-
財政学Ⅱ	0	+				+
社会学	0					+
社会学特講	0					
社会学理論	0					
社会思想史	0					
社会システム論	0					
コミュニケーション論	0					
老年学	0					
職業社会論	0	1				
企業と労働 ジェンダー論	0					
ジェンター調 国際協力論	0					
アジア地域開発論	0			<u> </u>	<u> </u>	1
Community Based Inclusive Development	0					
Disability and Development in Asia	0					
自然・スポーツ系	<u>. </u>	•	•			
人体の構造と機能及び疾病	0					
	· · ·	-	•	•	•	•

	DP 1	DP 2	DP 3	DP 4	DP 5	DP 6
	ウェルビーイン	ウェルビーイン	コミュニティで	ウェルビーイン	自らフィールド	身に付けた知
	グを多角的に理	グをコミュニ	実際に起きてい	グを実現する人	に出かけ、様々	識・スキル・態
	解するための、	ティで実現する	るウェルビーイ	材として、自分	な専門職と協力	度を総合的に活
1) D 4	幅広い知識を習	ために必要な専	ングの課題につ	の役割を自覚す	しながら、コ	用しながら、自
科目名	得している。	門的知識、専門	いて、臨床心理	ることが出来	ミュニティが抱	らが立てた研究
		的スキルを獲得	の学問領域の視	る。	える課題の解決	課題にそれらを
		している。	点・研究方法を		に取り組むこと	適用し、口頭表
			用いて考察する		が出来る。	現や文章表現に
			ことが出来る。			よって伝える力
						を習得してい
リハビリテーション概論	0					
生命の科学	0					
生命の科学Ⅱ	0					
自然環境論丨	0					
自然環境論Ⅱ	0		<u> </u>	1		_
基礎数学 I 基礎数学 II	0			+		+
スポーツ総合	0		+			
スポーツ総合Ⅱ	0					1
スポーツ種目Ⅰ	0			1		1
スポーツ種目 II	0					
情報·調査系科目						
心理学統計法		0	0			
心理データ解析		0	0			<u> </u>
コンピュータ入門I	0		<u> </u>	1		_
コンピュータ入門 II	0					
コンピュータ応用 WEBデザイン	0		+			
統計学	0					
言語コミュニケーション科目		1	<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>
第一言語群(英語)						
基礎英語 A	0					
基礎英語 A	0					
English Communication 1A	0					
English Communication 1B	0					
発展英語 A 発展英語 B		0	+	+		+
資格英語 A		0				
資格英語 B		Ö	+			
時事英語A		0				
時事英語 B		0				
English Communication 2A		0				
English Communication 2B		0	<u> </u>			<u> </u>
Intensive English 1A	0		1	1	1	1
Intensive English 1B	0	-		+		+
Intensive English 1C Intensive English 1D	0	+	1	+	1	+
Intensive English 1D Intensive English 2A		0		+		+
Intensive English 2B		0	1	†		†
Intensive English 2C		0				
Intensive English 2D		Ō			<u> </u>	
第二言語群(諸語)						
中国語 1 A	0		<u> </u>			<u> </u>
中国語1B	0		1	1		1
中国語1C	0		1	1		1
中国語 1 D 中国語 2 A	0	0	1	+		+
— 中国語 2 A 中国語 2 B	1	0		+	1	+
国際コミュニケーション(中国語1A)	0		1	†		†
国際コミュニケーション(中国語1B)	0			1		1
国際コミュニケーション(中国語1C)	Ö			<u> </u>		<u> </u>
国際コミュニケーション(中国語1D)	0					
国際コミュニケーション(中国語2A)		0				
国際コミュニケーション(中国語2B)		0	<u> </u>			<u> </u>
ドイツ語1A	0		1	1		1
ドイツ語1B	0		1			

## 2		DP 1	DP 2	DP 3	DP 4	DP 5	DP 6
P		ウェルビーイン	ウェルビーイン	コミュニティで	ウェルビーイン	自らフィールド	身に付けた知
# するための。		グを多角的に理	グをコミュニ		グを実現する人		識・スキル・態
科目名							
科目名		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					
10.2 + 10.2 後親	₩ □ 4						
LTNS	料目名	得している。			ることが出来		らが立てた研究
日本学 日本語 日本			的スキルを獲得	の学問領域の視	る。	える課題の解決	課題にそれらを
Fryse 1 C			している。	点・研究方法を		に取り組むこと	適用し、口頭表
FYYBELD 日本学校 日本				用いて考察する		が出来る。	現や文章表現に
F(79語 1 C				ことが出来る。			よって伝える力
F(79語 1 C							を習得してい
F/Y8h 1D	しょくいき 1 し						2 113 0 11
フランス語 日 日 日 日 日 日 日 日 日						1	
フランス語 D							
フランス語 D						†	
フランス部 1 D							
日本手話言語1 A 日本手話言語1 C 日本手話言語2 C 日本手話言語2 B 日本手話言語2 B 日本語1 A 日本語1 B 日本語1 B 日本語2 B 日本語3 B							
日本手話言語1 D ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	日本手話言語 1 A	0					
日本手話言語 1 D							
日本手話言語 2 A 日本年話言語 2 B 日本語 1 A 日本語 1 A 日本語 2 A 日本語 2 B 日本語 3 A 日本語 3 B 明教育科目 中述学概論 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							
日本手括言語 2 B 日本語 1 A 日本語 1 B 日本語 2 A 日本語 2 B 日本語 3 A 日本語 3 A 日本語 3 B 町門教育科目 専門基礎科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		0				<u> </u>	
日本語 1 A						_	ļ
日本語 2 A		_	0			1	+
日本語 2 A							
日本語 3 A							
日本語 3 A						1	
日本語 3 B		0					
専門教育科目 東門教育科目 東門教育科目 小理学振倫						†	
 心理学概論 心理学取り 心理学院和実験 心理学院和 原序心理学際論 心理的アセスメント 心理学的支援法 心理学的支援法 心理外放送 公認の理解の職責 精神疾患とその治療 コュニティ心理学 の 対理関節の職責 環境の関連人門 の 中門展開科目 臨床心理分野 産情・人格心理学 会達心理学 会達心理学 会達心理学 会達心理学 会達心理学 会達心理学 会達小理学 会達小理学 会達小理学 会達心理学 会達小理学 会達小理学 会達小理学 会達小理学 会達小理学 会達不必要等 会達不必要等 会議を必要等 会議を必要を 会議を <li< td=""><td>専門教育科目</td><td>L</td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td></li<>	専門教育科目	L				1	
心理学束験	専門基礎科目		_		_		_
 ○理学応用実験 ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □							
中門基幹科目 日本							
臨床心理学概論 ○	心埋字						
 ○理学的支援法 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	専門基幹科目	•	1		1		
 ○ 理学的支援法 ○ 日東法 ○ 日本 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)		(i)					
心理療法 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		0				†	
精神疾患とその治療	心理療法						
□S:1=ディ心理学 □取問題人門 ワージャルワークの基盤と専門職 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	公認心埋帥の職責				0		
地域向銀入門			1 ''				
 社会問題論 専門展開科目 臨床心理分野 感情・人格心理学 社会・集団・家族心理学 発達心理学 健康・医療心理学 位康・医療心理学 企業・組織心理学 産業・組織心理学 産業・組織心理学 原床心理学特講 有神分析学 児童精神医学 認知行動療法 心理検査法特講 公財費者法特講 公財費者法特講 公財費者法特講 公財費者法特講 公財費者法特講 公財費者法特講 公財費者法特講 公財費者法特講 公財プアプローチ 家族心理学 	地域問題人門				0		
専門展開科目 臨床心理分野 感情・人格心理学 ○ 社会・集団・家族心理学 ○ 魔害者・障害児心理学 ○ 健康・医療心理学 ○ 福祉心理学 ○ 虚業・組織心理学 ○ 臨床心理学特講 ○ 精神分析学 ○ 児童精神医学 ○ 認知行動療法 ○ 心理検査法特講 ○ 投映法特講 ○ がループアプローチ ○ 家族心理学 ○					0		
臨床心理分野 ○		<u> </u>	U			1	1
感情・人格心理学 ○ ○ <t< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<>							
社会・集団・家族心理学			(n)	\cap	T	T	T
発達心理学 ○ ○ 健康・医療心理学 ○ ○ 福祉心理学 ○ ○ 産業・組織心理学 ○ ○ 臨床心理学特講 ○ ○ 精神分析学 ○ ○ 児童精神医学 ○ ○ 認知行動療法 ○ ○ 心理検査法特講 ○ ○ グループアプローチ ○ ○ 家族心理学 ○ ○						1	1
障害者・障害児心理学							
健康・医療心理学	障害者·障害児心理学						<u></u>
産業・組織心理学			0				
臨床心理学特講 ○ ○ 精神分析学 ○ ○ 児童精神医学 ○ ○ 認知行動療法 ○ ○ 心理検査法特講 ○ ○ 投映法特講 ○ ○ グループアプローチ ○ ○ 家族心理学 ○ ○							
精神分析学						 	1
児童精神医学 ○ ○ 認知行動療法 ○ ○ 心理検査法特講 ○ ○ 投映法特講 ○ ○ グループアプローチ ○ ○ 家族心理学 ○ ○						1	1
認知行動療法						1	1
心理検査法特講 ○ ○ 投映法特講 ○ ○ グループアプローチ ○ ○ 家族心理学 ○ ○					1	+	+
投映法特講 ○ ○ グループアプローチ ○ ○ 家族心理学 ○ ○						+	+
グループアプローチ		+				+	+
家族心理学					1	†	†
				_		†	†
┃ 芸術療法	芸術療法		0				
教育·社会心理分野				<u>. </u>			<u> </u>
教育·学校心理学			0	0			
司法・犯罪心理学				0			
教育心理学特講 🔘 🔘							
社会心理学 ◎ ○ ○	社会心理学 I		0	0			

	DP 1	DP 2	DP 3	DP 4	DP 5	DP 6
	ウェルビーイン	ウェルビーイン	コミュニティで	ウェルビーイン	自らフィールド	身に付けた知
	グを多角的に理	グをコミュニ	実際に起きてい	グを実現する人	に出かけ、様々	識・スキル・熊
	解するための、	ティで実現する	るウェルビーイ	材として、自分	な専門職と協力	度を総合的に活
71 - 5	幅広い知識を習	ために必要な専	ングの課題につ	の役割を自覚す	しながら、コ	用しながら、自
科目名	得している。	門的知識、専門	いて、臨床心理	ることが出来	ミュニティが抱	らが立てた研究
		的スキルを獲得	の学問領域の視	る。	える課題の解決	課題にそれらを
		している。	点・研究方法を		に取り組むこと	適用し、口頭表
			用いて考察する		が出来る。	現や文章表現に
			ことが出来る。			よって伝える力
						を習得してい
 社会心理学Ⅱ						C LITS O C I
異文化心理学		© ©	0			
認知・学習心理分野			U		1	<u> </u>
心理学研究法		0	0			
知覚・認知心理学		0	0			
学習・言語心理学		0	Ö		İ	
神経·生理心理学		0	0			
心理測定法		0	0			
神経心理学特講		0	0			
認知心理学特講		©	0			
精神保健・福祉分野	1	1	T.	1	_	1
関係行政論		0	0			
ソーシャルワークの理論と方法(専門) II ソーシャルワークの理論と方法 I		0	0	0	1	
		0	0	0		
セルフヘルプグループ スクールソーシャルワーク		© ©	0	0	+	
精神障害リハビリテーション論		0	0			
精神保健学		0	0		†	
精神保健福祉の原理		0	0	0		
ソーシャルワークの理論と方法(専門) III		0	Ö	Ö		
精神保健福祉制度論I		0	0			
精神保健福祉制度論Ⅱ		0	0			
若者支援論 		0	0			
子ども家庭福祉論		0	0			
家族福祉論	1	0	0		1	
高齢者福祉論 「時実まだない」		0	0		1	
障害者福祉論		0	0			
女性福祉論 死生観とソーシャルワーク		© ©	0		+	
コミュニティスポーツ			<u> </u>		+	
演習・実習	1			1	1	1
心理演習丨		0		0	0	
心理演習Ⅱ		0		0	0	
心理実習		0		Ö	0	
専門演習IA		0	0			0
専門演習 I B		0	0			0
専門演習 II A		0	0			0
専門演習 II B	1	0	0		1	0
専門演習Ⅲ A 専門演習Ⅲ B		0	0		1	0
		0	0			0
卒業論文 英語専門演習 I A		0	0		1	©
英語専門演習 I B	+	0			+	
英語専門演習 A		0		0	+	
英語専門演習 B		0		0	1	
20HE 3 1 300 E II D	Ī	U	1	\cup	1	<u> </u>